



学校だより

# なかのかみ

校訓

至誠

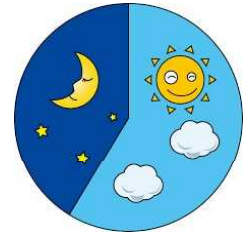
令和元年6月18日

第12号

海南市立中野上小学校

## お掃除について

昼間が長く感じられる今日この頃です。今週土曜日、6月22日は、夏至（げし）です。この日になると日本のある北半球では1年のうちでもっとも昼の時間が短くなります。または南半球では北半球の夏至の日にもっとも昼の時間が短くなり、北半球とは逆の日照時間になります。



今回は、掃除について、2種類の話をしていきます。皆さんは、どのように思いますか。

まず、1つ目は、人工知能（AI）を備えた「お掃除ロボット」の話です。

「お掃除ロボット」は、毎日毎日の掃除を繰り返すほどに家の中を上手に動き回るようになり、巧みに家の掃除をすることができるようになっていくそうです。人工知能（AI）の力によって家の構造や家具の配置などを把握し、掃除を行うたびに多くの情報を獲得し、掃除の腕を上げていく。まるで私たちが繰り返し経験することによって習得し、その技を磨いていた掃除の知識や技能を、「お掃除ロボット」がいつも簡単に学習し、身に付けていくそうです。

しかも、人工知能を搭載した「お掃除ロボット」は長時間に渡って繰り返し働き続けることができるだけでなく、文句1つ言わず丁寧に掃除をしてくれます。「面倒くさいな。」とか「やりたくないよ。」などと不満を口にしたり、嫌そうな表情をしたりすることもない。「まあいいか。」と手を抜くこともないらしいです。

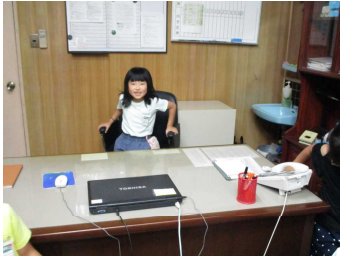
2つ目に、海外で行われている日本人による掃除活動です。

美しい街並みで人々を魅了するフランスのパリですが、足元を見るとゴミがたくさん落ちていて非常に汚れているそうです。しかし、その汚れを誰にいわれたわけでもなくボランティアで綺麗にし始めた人たちがいました。現地に住む日本人です。街路掃除の仕事に携わるフランス人労働者は、「俺たちの仕事を奪うのか」と大変なクレームをつけたそうですが、日本人は臆することなく黙々と清掃活動を続けました。そうすると、次第にパリに住むフランス人たちも清掃活動に参加するようになったのです。

「お掃除ロボット」は、床の掃除をすることができますが、机の上であったり、壁の掃除は今のところできないそうです。また、ボランティアとして掃除をする方々は現在も増えているように思います。

掃除の基本は、各家庭で、または学校でしっかり学ぶ必要があるということでしょうか。

校長 中家敦司



## 6月14日(金)3限

1年生が、授業の一環で職員室、校長室探訪しました。

校長室では、前任の土井先生までが座っていた椅子に子どもたちの希望者がかわり代わり座って記念撮影をしました。(ちなみに、私は、歴代の校長先生の椅子には座っていません。背もたれのない丸椅に座っています。)また、その後、「こにはなぜ多くの本があるのですか」とか、「校長先生は何時に学校に来ますか」などいろいろな質問をしてくれました。

## 6月18日(火)朝の集会

全校集会では、まず、全員で校歌を歌いました。前日に、「あすの集会では一番大きな声で歌います」と宣言していた学年(2年生)があり、楽しみにしていました。各学年の声の大きさを聞き比べみて、なるほど大きな声で歌えているなど思いました。

次に5年生が学年発表でした。

「春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。」から始まる清少納言の「春はあけぼの」を班単位で時に現代語訳を交えながらの発表でした。また、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。」から始まる平家物語を全員で元気に発表してくれました。この2つの古典の文は、昔からずっと国語の教科書に載っているのです、今でも暗記している方は多いのではないのでしょうか。



それから、歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールならびに歯・口の健康啓発標語コンクール出品者に賞状伝達を行いました。介添えは児童会役員の峠咲音さんです。以前の学校だよりで紹介をしましたので、ここでは、賞状伝達の様子の一部を写真にて紹介します。さすが、6年生は賞状受け取り方が上手でした。



最後に、保健委員会からアルボース(給食前、殺菌用手洗い石けん)の使い方について、注意がありました。このことは、保健委員会部長 尾前有咲さんと副部長 岩橋里桜さんから「みんなに注意したい」と養護の先生に申し出があり、実現したものです。委員会活動に自分から積極的に関わっていかうとする姿勢が素晴らしいです。

わずか20分の集会でしたが、中身のつまった時間でした。